



主要な農作物の生育情報

令和元年度 第7号

(令和元年10月9日)

福島県農林水産部農業振興課

【水 稲】

農業総合センター調査の成熟期は、各場所の各品種とも平年並から早まりました。本部（郡山）と浜地域研究所（相馬）では、登熟日数も平年より短くなりました。

県内の刈取始期（5%）は9月26日（平年：9月27日）となり、収穫作業は平年並に進んでいますが、成熟期後の気温が高く推移していることから刈り遅れによる品質低下が懸念されます。

表1 水稻主要品種の成熟期と登熟日数（農業総合センター）

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部 (郡 山)	ひとめぼれ	5.15	9.18	9.20	-2	44	49	-5
	天のつぶ	5.15	9.16	9.23	-7	41	49	-8
	コシヒカリ	5.15	9.29	10.2	-3	47	52	-5
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.20	9.8	9.11	-3	41	42	-1
	天のつぶ	5.20	9.12	9.14	-2	43	44	-1
	コシヒカリ	5.20	9.18	9.18	±0	44	44	±0
浜地域研究所 (相 馬)	ひとめぼれ	5.10	9.10	9.14	-4	40	46	-6
	天のつぶ	5.10	9.21	9.22	-1	49	52	-3
	コシヒカリ	5.10	9.28	9.28	±0	50	52	-2

【野 菜】

1 秋ブロッコリー

県南地方では、播種は7月上旬、定植は7月下旬から開始され、いずれも平年並となりました。定植のピークは8月5～10日頃で8月末にはほぼ終了し、順調に生育しています。

出荷のピークは平年並の10月中～下旬と予想されます。病害は、軟腐病が発生しています。

2 秋冬ニラ

6～7月の日照不足、降雨により生育の停滞が見られたものの、8月以降に好天が続いたことで生育は回復しています。捨て刈りは10月下旬から、収穫は11月中旬から行われる見込みです。病害は、さび病が発生しています。

3 いちご

普通育苗では9月初旬に花芽分化を確認し、定植作業は平年並の9月上旬から順次行われ、順調に生育しています。収穫は、11月中下旬頃からは始まる見込みです。

4 夏秋トマト

4月下旬定植の作型は、平年並の17～18段花房開花、13～14段花房の収穫となっています。9月中下旬には摘芯作業が行われ、収穫は10月下旬から11月上旬頃まで行われる見込みです。

【果 樹】

1 りんご

(1) 果実肥大（果樹研究所 10月1日現在）

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が79.8mmで平年比101%、横径が86.5mmで平年比101%と平年並、生育日数による比較でも平年並となっています。

(2) 果実成熟

9月25日（満開後146日）の「ふじ」の成熟は、硬度は11.3ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.5で平年より高い状況です。また、果皮に含まれるクロロフィル含量、アントシアニン含量ともに平年より高く推移しています。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

2 なし

「豊水」の収穫盛期は平年並でした。収穫時の平均果重は平年より大きく、糖度は平年並でした。「二十世紀」の収穫盛期は平年より8日早まりました。収穫時の平均果重は平年より大きく、糖度はやや低くなりました。

「ラ・フランス」の成熟調査では、果肉硬度、地色指数、デンプン指数はいずれも平年並でした。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の定植は、平年並の8月中旬から9月にかけて順次行われ、順調に生育しています。一部の地域でハイダラメイガの発生がみられます。年内の本格出荷は11月～12月中旬となる見込みです。春彼岸出荷については、現在、播種育苗中であり順次作業が進んでいます。

2 キク類

9月咲きの品種は概ね平年並の出荷でした。また、10月咲きの生育は一部の産地で徒長気味ですが、概ね平年並の生育です。病害虫では、白さび病の発生が一部の品種で多くみられました。

【飼料作物】

1 牧草

3番草は、9月中旬から収穫が行われています。収穫調製時に天候の影響を受けなかったことから、品質は良好となる見込みです。収量は平年並が見込まれますが、地域によっては2番草の刈遅れの影響でやや少ない状況となっています。

2 飼料用トウモロコシ

中晩生種は9月中旬から収穫が行われています。収穫調製時に天候の影響を受けなかったことから、品質は良好となる見込みです。収量は平年並となる見込みです。

3 W C S用稲

8月中旬から収穫が開始されており、現在は専用品種の晩生種等の収穫が行われています。収量は平年並となる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。